

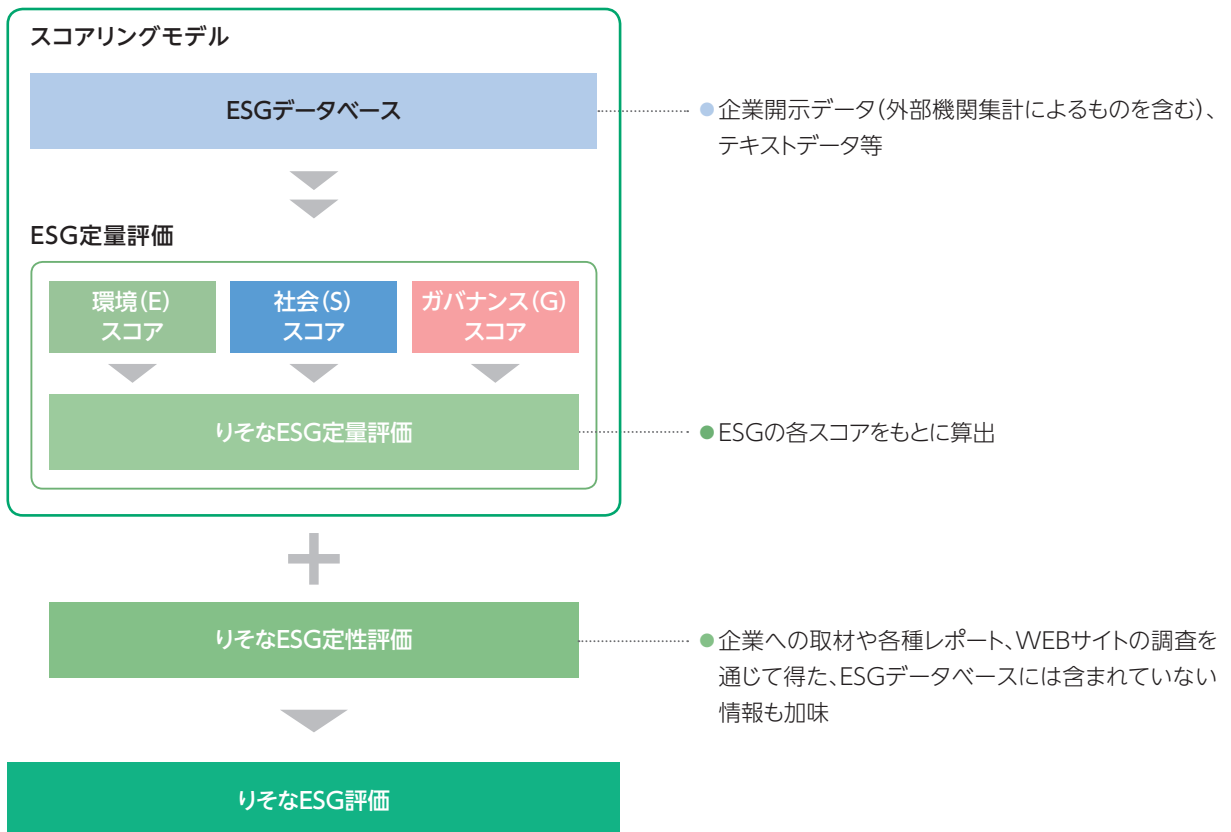
# リソなESG評価

当社では、アセットクラスや投資戦略の垣根を越えて、企業におけるESGのリスクやオポチュニティ(機会)など企業のESG関連の状況を、幅広くかつ統一的な基準で把握することを目指して、企業に対して「リソなESG評価」を付与しています。

## 「リソなESG評価」とは

- 「リソなESG定量評価」(数値)と「リソなESG定性評価」(A-E)で構成される評価指標であり、例えば「60-C」のように、「数値-アルファベット」の形で表記されます。
- 「リソなESG定量評価」は、当社が重要と考えるESG項目について、独自のスコアリングモデルを用いて、以下の3つを偏差値として総合的に評価します。
  - 企業が認識するESGに関連するリスクのエクスポージャーとそれに対する対応状況
  - 企業が認識するESGに関連するオポチュニティ
  - ESGにかかる情報開示の充実度
- 「リソなESG定性評価」は、「リソなESG定量評価」では捉えきれない以下の2つを5段階で総合的に評価するものです。
  - ESGのリスクやオポチュニティが発現した際に実際に企業価値に及ぼす影響度
  - ESGのリスクやオポチュニティが発現する可能性
- 「リソなESG定性評価」は、当社のマテリアリティおよびESG課題に基づく評価項目を設定し全社的に統一された基準で評価を行うことで、属人性を排除するよう努めています。

## リソなESG評価の付与プロセス



## ■「リソなESG定量評価」と「リソなESG定性評価」の評価項目

「リソなESG定量評価」と「リソなESG定性評価」は、当社のマテリアリティおよびESG課題に基づきE・S・Gそれぞれに設定した評価項目を考慮します。

環境(E)			
イシューの例	エネルギー管理	GHG(温室効果ガス)排出量管理	水資源管理
具体的評価項目の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHG(Scope2)排出量</li> <li>再生可能エネルギー利用率</li> <li>再生可能エネルギー使用目標策定状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHG排出量(総量、Scope1・3)</li> <li>GHG排出量(ガス種類別)</li> <li>科学的根拠に基づく削減目標の開示状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水使用総量</li> <li>水リサイクル率</li> <li>排水管理方針の策定状況</li> </ul>
社会(S)			
イシューの例	顧客・地域社会	従業員・労働者の人権	品質管理・サプライチェーン
具体的評価項目の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会への支出額</li> <li>贈収賄・汚職にかかる罰金支払の有無</li> <li>顧客データ保護の実施有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働組合組織率</li> <li>女性管理職比率</li> <li>児童労働防止の取り組みの有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部監査済サプライヤー比率</li> <li>顧客苦情発生数</li> <li>サプライチェーンの社会リスク管理</li> </ul>
ガバナンス(G)			
イシューの例	独立性	ダイバーシティ	株主権
具体的評価項目の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会構造</li> <li>独立役員比率</li> <li>会長、筆頭取締役の独立性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性CEOの存在</li> <li>女性役員比率</li> <li>役員の年齢レンジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>買収防衛策策定状況</li> <li>議決権に差異のある普通株式の発行の有無</li> <li>支配株主の存在</li> </ul>

※当社のマテリアリティやESG課題の詳細は、16ページをご参照ください。

※上記は2023年9月末時点のものであり、今後適宜見直しを行う予定です。

## ■「リソなESG定量評価」の決定プロセス(スコアリングモデル)

1. ESGデータベースのさまざまなESG関連データを各イシュー内に定めたサブイシューの具体的評価項目に当てはめ、サブイシューごとにスコアを算出します\*1。
2. 1.の各サブイシューのスコアを加重平均\*2してイシューごとにスコアを算出します。
3. 2.の各イシューのスコアを加重平均\*3し、さらに企業規模調整と業種調整を行うことで、ESGそれぞれのスコアを算出します。
4. 3.のESGの各スコアを加重平均\*4し、「リソなESG定量評価」を決定します。

\*1 ESG関連データごとに0~1の値をとるスコアを決定します。このスコアを単純平均してサブイシュースコアを算出します。

\*2 加重ウェイトは、イシューごとに個別に設定しています。

\*3 加重ウェイトは、「リソなESG業種分類」に基づいて決定されます。業種ごとに重要ESGイシューを特定し、重要度が高いイシューのウェイトをより大きくしています。

\*4 加重ウェイトは、企業規模(純資産総額)の評価対象企業内順位に基づいて決定されます。企業規模が小さい企業はガバナンス(G)のウェイトをより大きくしています。

